

農林水産商工常任委員会資料

(平成21年11月25日)

項目

- 1 鳥取県の経済雇用情勢について
【経済通商総室(企画調査チーム)】 …… 1
- 2 第2回鳥取県版「経済成長戦略」会議の開催結果について
【経済通商総室(企画調査チーム)】 …… 3
- 3 境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について
【経済通商総室(通商物流チーム)】 …… 4
- 4 鳥取県雇用対策協議会拡大会議の開催結果について
【雇用人材総室(雇用就業支援チーム)】 …… 6
- 5 「新規高卒者就職面接会」及び「とっとり・しまね企業ガイダンス」の
実施結果について 【雇用人材総室(雇用就業支援チーム)】 …… 7
- 6 パナソニック㈱及び三洋電機㈱の資本・業務提携に関する動向について
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】 …… 8
- 7 全国規模の専門展示会への出展状況について
【産業振興総室(新事業開拓チーム)】 …… 9
- 8 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について
【市場開拓局市場開拓室】 …… 10
- 9 食のみやこ鳥取県 in ニューヨーク推進事業の実施結果について
【市場開拓局市場開拓室】 …… 12
- 10 「おいしい鳥取 in 丸の内ハウス」の開催について
【市場開拓局市場開拓室】 …… 14

商工労働部

鳥取県の経済雇用情勢について

平成21年11月25日
経済通商総室
企画調査チーム

県経済の動向

○県内経済は、生産活動において持ち直しの動きがみられるが、個人消費で弱めの動きが続き、雇用情勢も厳しい状況であることから、総じて厳しい情勢。

- ・需要面 個人消費は、弱い動きとなっている。
- ・産業面 鉱工業生産は、持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用面 雇用情勢は、厳しい状況にある。

鳥取県の主な経済指標

1 需要面

乗用車新規登録台数は、エコカー減税・補助金等の効果により回復傾向（4ヶ月連続の前年比プラス）にあるが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年割れが続く。また、大型小売店販売額（8月）は、「婦人服・子供服・洋品」、「飲食良品」、「その他の商品」、「身の回り品」などすべての商品が前年を下回り、17か月連続で前年を下回った（店舗調整後）。総じて県内の需要は弱い動きが続いている。

【大型小売店販売額】

| | | (百万円、%) | | | | | (億円、%) | | |
|-----|-----|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|----|
| | | 21年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 21年8月 | 9月 |
| 鳥取県 | 販売額 | 4,819 | 4,904 | 4,565 | 5,708 | 5,868 | | 15,696 | |
| | 前年比 | △ 7.3 | △ 7.5 | △ 8.0 | △ 8.0 | △ 9.0 | | △ 6.8 | |
| 全国 | | | | | | | | | |

(資料：「大型小売店販売概況」経済産業省)

(注) 販売額は全店舗ベース、前年比は店舗調整済。当年と前年の販売額と比較しても前年比とは一致しない。

【その他の消費関係指標の前年比 (%) の推移】

| | 21年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------------------|-------|-------|------|-------|-------|------|
| 乗用車新規登録台数 | ▲19.4 | ▲13.6 | +1.2 | +11.0 | +12.6 | +8.0 |
| ホームセンター・家電量販店販売額 | +0.9 | +0.9 | ▲0.2 | ▲8.8 | ▲1.2 | — |

(資料：「乗用車新規登録台数」中国運輸局、「大型小売店販売概況」経済産業省)

2 産業面

鉱工業生産指数（8月）は、5か月連続の上昇（季節調整済）。昨年秋の世界同時不況の影響から生産が低迷していた電子部品・デバイス、電気機械等が持ち直していることが主な要因。

生産水準としては、昨年秋の水準（約95.0）まで回復している。

【鉱工業生産指数】

| | | 21年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 21年8月 | 9月 |
|-----|-----------|--------|--------|--------|-------|------|----|--------|----|
| 鳥取県 | 生産指数(季調済) | 76.4 | 78.2 | 83.0 | 90.4 | 96.2 | | 83.9 | |
| | 前月比(季調済) | 16.6 | 2.4 | 6.1 | 8.9 | 6.4 | | 1.6 | |
| | 前年比(原指数) | △ 15.9 | △ 20.6 | △ 10.4 | △ 5.7 | 3.9 | | △ 19.0 | |
| 全国 | | | | | | | | | |

平成17年=100

(資料：「鳥取県鉱工業指数月報」県統計課、「生産統計速報」経済産業省)

3 雇用面

有効求人倍率（9月）は、0.48倍（季節調整済）と前月と比べて0.02ポイント上回ったが、依然として0.5倍を割り込んでいる。

【人材不足の主な業種】 保健師・助産師等、販売類似の職業、接客・給仕の職業、保安の職業、福祉関連など

【雇用の場が不足の主な業種】 社会福祉専門の職業、一般事務員、商品販売の職業、自動車運転、電気機械組立修理など

| | | 21年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 21年8月 | 9月 |
|-----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 鳥取県 | 有効求人倍率 | 0.46 | 0.46 | 0.45 | 0.46 | 0.46 | 0.48 | 0.42 | 0.43 |
| | 前年同月 | 0.69 | 0.70 | 0.70 | 0.68 | 0.67 | 0.67 | 0.85 | 0.83 |
| | 雇用保険受給者 | 5,776 | 6,171 | 6,013 | 5,817 | 5,277 | 4,845 | | |
| 全国 | | | | | | | | | |

(資料：「労働市場月報」鳥取労働局)

【平成22年3月新規高等学校卒業予定者の求人・求職・就職内定状況】（鳥取労働局；10月21日発表）

- ・就職内定率は29.4%で、前年同期（44.0%）を14.6ポイント下回る。⇒平成16年3月卒業以来、6年ぶりの低水準
- ・求人倍率は0.44倍で、前年同期（0.66倍）を0.22ポイント下回る。⇒平成16年3月卒業以来、6年ぶりの低水準
- ・求人数は532人で、前年同期（921人）に比べ42.2%（389人）減少。

参 考

○ 企業倒産

企業倒産（10月）は件数が5件で前年比べて3件増加。負債総額は5億5,600万円で前年比べて4億2,600万円増加しており、高い水準で推移している。

| 鳥 取 県 | | (件、百万円) | | | | (件、百万円) | | | 全国8月 | |
|-------|------|---------|--------|-------|-----|---------|-------|-----|--------|---------|
| | | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10月 | 小計 | 11月 | 12月 | 年間合計 | |
| 平成21年 | 件数 | 24 | 14 | 13 | 5 | 56 | | | | 1,241 |
| | 負債総額 | 5,676 | 1,465 | 1,898 | 556 | 9,595 | | | | 284,213 |
| 平成20年 | 件数 | 12 | 23 | 26 | 2 | 63 | 8 | 8 | 79 | 1,254 |
| | 負債総額 | 3,995 | 16,976 | 3,950 | 130 | 25,051 | 3,265 | 922 | 29,238 | 867,979 |

(資料：「企業倒産状況」東京商工リサーチ)

○ 雇用調整助成金（実績ベース）

雇用調整助成金は、事業所数、対象者数、支給金額ともに大幅に増加。

| | | (金額：人、千円) | | | | | | (金額：千人、百万円) | |
|-----|------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------|--------|
| | | 21年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 21年8月 | 9月 |
| 鳥取県 | 事業所数 | 162 | 175 | 247 | 334 | 293 | 291 | 79,256 | 87,544 |
| | 対象者数 | 6,701 | 7,647 | 8,260 | 10,974 | 7,928 | 7,413 | 2,554 | 2,534 |
| | 支給金額 | 259,835 | 216,805 | 282,148 | 343,945 | 260,247 | 212,728 | 76,409 | 77,321 |
| 全国 | | | | | | | | | |

○ 緊急保証制度の利用状況

緊急保証制度の利用状況（10月末累計）は、承諾金額492億4,451万円（前年同期比720.4%増）と大幅に増加。

(件、千円、%)

| 区 分 | 年度 | 東 部 | | | 中 部 | | | 西 部 | | | 合 計 | | |
|------|-------------------|-----|------------|-------|-----|-----------|-------|-----|------------|-------|-------|------------|-------|
| | | 件数 | 金 額 | 前年比 | 件数 | 金 額 | 前年比 | 件数 | 金 額 | 前年比 | 件数 | 金 額 | 前年比 |
| 保証承諾 | 前年 同期間 | 147 | 3,461,750 | - | 63 | 855,920 | - | 105 | 2,517,688 | - | 315 | 6,835,358 | - |
| | H20.10～ H21.10 | 983 | 19,847,701 | 573.3 | 365 | 7,191,302 | 840.2 | 925 | 22,205,505 | 882.0 | 2,273 | 49,244,508 | 720.4 |

※対前年比は、金額ベース

○ 設備投資の動向

設備投資の動向は、「実施した」とする事業所は、平成21年4～6月期は17%、7～9月期は20%、10～12月期は18%（見通し）となっており、依然として、設備投資に慎重な姿勢を続けている。

〔設備投資した事業所の割合（製造業）〕

26%（H20.10～12）→23%（H21.1～3）→15%（H21.4～6）→22%（H21.7～9）→17%（H21.10～12）見通し

(資料：「鳥取県経営者見通し調査」鳥取県統計課)

○ 各機関の景況分析

* 日本銀行松江支店（11月公表）

山陰両県の景気は、なお厳しい状況にあるが、下げ止まっている。

- ・個人消費は、低調な動きが続いているが、一部に、各種政策効果から強めの動きが見られる。
- ・生産は、操業度引き上げの動きが一部に見られるなど、着実に回復している。
- ・雇用情勢は、厳しい状況が続いている。
- ・所得情勢は、厳しい状況が続いている。
- ・公共投資は、高めの水準を維持している。
- ・住宅投資は、水準が大きく切り下がっている。

* 鳥取財務事務所（10月公表）

県内経済は、雇用情勢で厳しい状況が続いており設備投資も減少見通しとなっているものの、個人消費が下げ止まりつつあるほか生産活動が持ち直しているなど、一部に持ち直しの動きがみられる。

- ・個人消費は、下げ止まりつつある。
- ・生産活動は、持ち直している。
- ・雇用情勢は、厳しい状況が続いている。
- ・企業収益（21年度通期）は、増益見通し。

第2回鳥取県版「経済成長戦略」会議の開催結果について

平成21年11月25日
経済通商総室
企画調査チーム

鳥取県版「経済成長戦略（素案）」について、各産業分野に精通している戦略会議委員により県経済の成長分野や可能性について論議していただくとともに、ご意見・ご提言をいただき鳥取県版「経済成長戦略」に反映させるため、以下のとおり「第2回経済成長戦略会議」を開催しました。

（※）戦略の目的：人口減少下においても安定かつ持続可能な経済成長を実現

1 開催日時 11月16日（月）13:30～15:30

2 出席者

<経済成長戦略会議>

| | | | | | |
|------|---------------|---------------|-------|--------------|------|
| 平井委員 | 鳥取県 | 知事 | 小梅川委員 | ㈱バティフパートナーズ | 技術顧問 |
| 八村委員 | 鳥取県商工会議所連合会 | 会長 | 後藤委員 | (社)鳥取県情報産業協会 | 会長 |
| 池淵委員 | トヨタ自動車㈱ | 顧問・技監 | 吉長委員 | 広島国際大学 | 教授 |
| 根津委員 | ㈱富士通総研 | 取締役サジェキティブフォー | 山崎委員 | 都市創造研究所 | 所長 |
| 藤原委員 | ㈱インターネット総合研究所 | 所長 | 濱田委員 | ㈱めぐみ | 代表 |

※池淵委員は欠席。

<鳥取県>

- 商工労働部長、部内各チーム長、WGメンバー等
- 関係部局主管課長等（企画部、文化観光局、福祉保健部、生活環境部、農林水産部）

3 会議概要

<提示した経済成長戦略（素案）の概要>

【戦略的推進分野】

- ①環境・エネルギー（エコカー関連産業）
- ②環境・エネルギー（太陽光関連産業）
- ③バイオ・健康食品関連産業
- ④次世代デバイス（電機・電子）
- ⑤健康・福祉サービス関連産業
- ⑥まちなかビジネス
- ⑦コミュニティビジネス
- ⑧ノービザ特区の実現による地域経済の活性化

<委員からの主な意見>

- 環境に関する鳥取県としてのシンボリックなプロジェクトが必要
⇒（例）エネルギーとITの融合による地域版スマートグリッドの構築 等
- EV時代を見据えて、ガソリンスタンドやコンビニのニーズ調査が必要
- 観光や企業情報を県に一元化し、全てのモノが購入できる仕掛けが必要
- EVの生産に向けて、部品メーカーの誘致による産業集積化が必要
- 県内スーパー等での県内加工品の販売拡大のため、物流の研究・強化が必要
- コミュニティビジネスでは、コミュニティファンドなど金融支援が重要
- 食品開発は、いい技術さえあれば売れるわけではなくマーケティングが重要

境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について

平成21年11月25日
 経済通商総室
 通商物流チーム

1 運航状況全般

- ◆10月28日現在で、境港～東海間を31往復、東海～ウラジオストク間を18往復。境港～東海間、東海～ウラジオストク間は台風等荒天により1回ずつ欠航。
- ◆延べ乗客数は16千人を超えた。7～8月中は韓国人ツアー客を中心に毎便300～400名余りの乗客でほぼ満席であったのに対し、9月から10月にかけて乗客は平均で100～200名程度となった。11月は新型インフルエンザ等の影響で利用者が減少している。
- ◆貨物の確保については、荷主企業が航路の運航状況や貨物実績を見極めようとする雰囲気があり、引き続き努力が必要。

2 初就航からの運航実績（6月29日～10月28日）

<暫定集計>

| 項目 | 合計 | 境港～東海 | 東海～ウラジオ |
|----------|----------------------------|--------|---------|
| 運航回数（往復） | 49回 | 31回 | 18回 |
| 乗客数（人） | 16,433 | 14,775 | 1,658 |
| 平均乗客（人） | 335 | 476 | 92 |
| 貨物量 | 52TEU（20フィートコンテナ換算）+パレット貨物 | | |

<輸送貨物の動向：区間別の主要品目>

- ・東海→境港 パネル、水産品、リサイクルペットボトル、機械類、部品等
- ・境港→東海 活魚、酒類、果物類、プラスチック箱、建築用資材、車両部品等
- ・東海→ウラジオ 建設重機部品、建築資材、車両部品、衣類、車両（RV、ボンゴ車、バス）等
- ・ウラジオ→東海 水産品、蜂蜜、衣類

3 冬季運航スケジュールの変更について

冬季の日本海上の気象条件等を考慮し、12月1日からウラジオストクにステイする新しいスケジュールにより運航される予定。

<現行スケジュール>

| 区分 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|-------|---------|-------|------|-------|-------|-------|
| 入港 | 9:00 | 12:00 | 13:00 | 9:00 | | 9:00 | 8:00 |
| | 東海 | ウラジオストク | 東海 | 境港 | | 東海 | 境港 |
| 出港 | 14:00 | 19:00 | 18:00 | | 19:00 | 18:00 | 20:00 |
| | 東海 | ウラジオストク | 東海 | | 境港 | 東海 | 境港 |

<変更後のスケジュール>

| 区分 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|-------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|
| 入港 | 9:00 | 14:00 | | 9:00 | 9:00 | 9:00 | 9:00 |
| | 東海 | ウラジオストク | | 東海 | 境港 | 東海 | 境港 |
| 出港 | 17:00 | | 14:00 | 18:00 | 19:00 | 18:00 | 19:00 |
| | 東海 | | ウラジオストク | 東海 | 境港 | 東海 | 境港 |

※適用期間：2009年12月1日～2010年3月31日（予定）

4 航路を巡る最近の動き

(1) 韓国 Food Week に鳥取県企業が出展 (11月19日～22日)

日本食、日本酒ブームに湧く韓国・ソウルにおいて、鳥取県産品の販路拡大及び韓国企業とのビジネスマッチングを支援することを目的に、韓国最大の食品総合展示会「Food Week2009」に出展する県内企業を、ジェトロ (日本貿易振興機構) とともに支援。

【出展企業】 ・(株) 澤井珈琲 (コーヒー) ・(株) 越河 (水産加工品)
 ・千代むすび酒造 (株) (日本酒) ・大谷酒造 (株) (日本酒)

(2) 倉吉商工会議所による韓国経済交流視察団の派遣 (11月20日～24日)

韓国との文化、経済交流の促進を図るとともに、貨客船航路・米子ソウル便の利用支援を目的として、中部地域の経済関係者を中心とした17人余りの訪問団を派遣。現地の商工会議所への訪問や工場視察などを実施。

5 元気な鳥取県産業推進プロジェクト (枠予算) の実施について

(1) ロシア連邦地方行政団来県の実施

日本の自治体運営等の視察を目的に訪日したロシア連邦地方行政団が、地方自治体訪問プログラムとして鳥取県を訪問。滞在中に県内の経済、行政関係者との意見交換や企業・観光地視察等を通して鳥取県及び貨客船航路をアピールし、航路安定運航へ繋げるための機会とした。

- ・期 間 10月28日～29日
- ・来県者 北オセチア共和国金融大臣ほか、総勢15名
- ・主な行事 鳥取県議会議長・副知事訪問、鳥取・境港市長訪問、鳥取県主催歓迎レセプション、貨客船船内見学 等

(2) 北東アジア交流プロジェクト松江シンポジウムの実施

北東アジア地域との交流に関し幅広く機運の盛り上げを図るため、山陰中央新報社等との共催により「北東アジア交流プロジェクト松江シンポジウム」を開催。併せて、新聞広告により貨客船航路などの周知も行い、鳥取県の取組を広く県内外に情報発信した。

- ・開催日 11月5日 ・場 所 松江市 (くにびきメッセ)
- ・シンポの概要 ロシア大使による基調講演、有識者5氏によるパネルディスカッション
- ・その他 シンポの内容を伝える詳報記事は、主催者として連携する日本海側沿岸地域の地方紙各社 (山陰中央新報社+9社) で報道。

【執行状況】

(単位：千円)

| 類 型 | 事 業 名 | 執行額 |
|-----------|-----------------------|-------|
| 県内外への情報発信 | ロシア連邦地方行政団来県の実施 | 1,550 |
| | 北東アジア交流プロジェクト松江シンポジウム | 1,575 |
| 今回報告額 | | 3,125 |

【参考】元気な鳥取県産業推進プロジェクトの概要

1 事業の概要

優れた企業や技術、製品、人材など県内産業資源の県内外への情報発信や販路拡大など、県内産業の高付加価値化に向けたきっかけ作りを行う。

機動的な事業実施のため当部に枠予算化を設定。可能な限り時期、内容等を常任委員会に事前報告。

2 事業内容

- (1) 県内外への情報発信 優れた技術・製品・人材など県内産業資源の付加価値を情報発信
- (2) 経済活力の増進 著名経済人等の招聘、シンポジウム、セミナーの開催など
- (3) 県産品の販路拡大 県外での商談会等、県内製品のマッチングの場をフレキシブルに提供

3 予算額 20,000千円

鳥取県雇用対策協議会拡大会議の開催結果について

平成21年11月25日
雇用人材総室
雇用就業支援チーム

10月23日(金)に発表された政府の「緊急雇用対策」を受け、本県での雇用対策を協議するため、下記のとおり標記会議を開催しました。

- 1 日時・場所 11月6日(金) 午後4時～5時(於県庁第4応接室)
- 2 出席者 鳥取県 知事、副知事、教育長、商工労働部長、雇用人材総室長ほか
鳥取労働局 鳥取労働局長、職業安定部長ほか
関係団体 連合鳥取会長、市長会長(代理)、町村会長

3 会議の結果

今後、取り組むこととして確認された事項は下記のとおりです。

I 雇用対策協議会の開催

関係機関で情報共有、連携を強化しながら雇用対策を推進するために毎月協議会を開催

II 基金事業を活用した雇用創出の一層の推進

1 基金事業の積極的な執行

基金事業について、大幅な要件緩和・運用改善や緊急雇用創造プログラムの創設を受けて、基金事業を活用した雇用創出事業を一層推進

2 市町村への説明会の開催

「緊急雇用創造プログラム」の概要、要件緩和・運用改善の内容を説明し、基金事業の一層の活用を要請(11月11日実施済)

III 新規高卒予定者への就職支援

1 一層の求人開拓の実施

・県、県教育委員会、労働局による企業訪問等による求人要請を引続き実施(目標200社)

2 就職面接会等の開催

・新規高等学校卒業生就職面接会を県内3地区で実施(11月13日～)

・就職フェア(高卒以外も含む)を3地区で実施(来年2月)

3 企業見学会の実施

・求人未充足企業等の見学会(生徒・保護者対象)を実施(12月、3回程度)

4 県立高等技術専門校における職業訓練の実施〔11月補正提案〕

・高卒未就職者対象の1年間の訓練(定員40名)の準備

5 高卒就職ジョブサポーターの追加配置

・ハローワーク鳥取に高卒就職ジョブサポーターを1名追加配置(11月)

6 就職準備講習の実施

・各ハローワークで模擬面接及び自己PR等を行う就職準備講習を実施(11月)

7 中国5県で求人情報を共有

・中国5県の未充足の求人情報を労働局、教育委員会、学校が共有(11～3月)

「新規高卒者就職面接会」及び「とっとり・しまね企業ガイダンス」 の実施結果について

平成21年11月25日
雇用人材総室
雇用就業支援チーム

1 「新規高卒者就職面接会」について

来春卒業予定の高校生の就職を支援するため、鳥取労働局、県教育委員会と協力して、下記のとおり新規高卒者就職面接会を開催。今後も引き続き、求人開拓、企業見学会・就職面接会の開催により高校生の就職支援を行っていく予定。

(1) 実施結果

| 地区 | 開催日 | 開催場所 | 参加生徒数 | 参加企業数 |
|----|--------|---------------|----------|---------|
| 東部 | 11月13日 | 白兔会館 | 92 (81) | 10 (18) |
| 中部 | 11月18日 | ホテルセントパレス倉吉 | 42 (24) | 11 (8) |
| 西部 | 11月17日 | 米子ワシントンホテルプラザ | 115 (84) | 19 (27) |

※ () 内は昨年度実績

(2) 今後の新規高卒者向けの取組み

○求人開拓の実施

県・県教育委員会・労働局による企業訪問等による求人要請 (目標200社)

○企業見学会の開催

12月中旬、コールセンター等の求人未充足企業への生徒・保護者見学会を開催予定

○就職面接会の開催

来年2月、就職フェアを一般求職者、来春卒業大学生・高校生等を対象に開催予定

2 「とっとり・しまね企業ガイダンス (広島・大阪)」について

山陰両県合同で初めての取り組みとして、両県出身者の多い山陽・関西地域においてI J Uターン就職促進のための企業ガイダンスを開催。

(主催：財団法人ふるさと鳥取県定住機構、財団法人ふるさと島根定住財団)

(1) 実施結果

| 地区 | 開催日 | 開催場所 | 参加人数 | 参加企業数 |
|----|---------------|-----------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| 広島 | 10月31日 (土) | 基町クレド (広島市中区) | 196 (78) [鳥取39、島根120 その他37] | 39 (21) [鳥取12、島根12 両県15] |
| 大阪 | 11月14日 (土) | 大阪国際会議場 (大阪市北区) | 301 (83) [鳥取146、島根92 その他63] | 49 (17) [鳥取22、島根11 両県16] |

※ () 内は昨年度に島根県側で単独開催した実績

(2) 今後のI J Uターン就職関係の取組み

・鳥取県I J UターンB i g相談会 (2月・大阪)

・とっとり企業ガイダンス2010 (3月・東京-島根県との合同開催も検討予定)

パナソニック(株)及び三洋電機(株)の資本・業務提携に関する動向について

平成21年11月25日
産業振興総室
企業立地推進チーム

11月4日(水)、パナソニック(株)(以下「パナソニック」)による三洋電機(株)(以下「三洋電機」)株式の公開買付けの開始について、両社より発表されました。

1 経過等

(1) 公開買付け(TOB)関係 <TOBの概要>

- パナソニック及び三洋電機は、グローバル競争力強化に向けたシナジー効果の追求と企業価値の最大化を目指して、平成20年12月19日付けで「資本・業務提携契約」を締結。
- 統合による市場の寡占化を禁止する競争法の審査が、日本、米国、欧州、中国など11ヶ国において実施。
- 国内外の競争法に基づき必要な手続き等が概ね完了したことを受けて、パナソニックは平成21年11月4日の取締役会において、三洋電機株の公開買付けを決議。
 - *買付期間 11月5日(木)～12月7日(月)(22営業日)
 - *パナソニックは、三洋電機の大株主である「ゴールドマン・サックスグループ」、「大和証券SMB Cグループ」、「三井住友銀行」の3社と応募契約を締結済み。

<関連する事業再編>

- 競争法当局は、審査過程において「ニッケル水素電池(自動車用途を除く)」「円筒形リチウム一次電池」「コイン形二次電池」に係る事業が、商品市場に競争上の懸念が生じると指摘。
- 競争法上の問題解消措置の一つとして、三洋電機は三洋エナジー鳥取(株)を富士通(株)子会社のFDK(株)に譲渡することを10月28日発表。(なお、三洋エナジー鳥取(株)によると雇用、販売先等に影響はない模様)

(2) コラボレーション委員会

- 両社の機能、事業、マネージメント等について双方で話し合う「コラボレーション委員会」が、TOB完了後に再開される見込み。

2 今後の対応

- (1) TOB完了後、両社に向けて鳥取での事業継続及び雇用維持について要請を行う。
- (2) コラボレーション委員会の動向については、三洋電機CE等から情報収集に努める。

全国規模の専門展示会への出展状況について

平成21年11月25日
産業振興総室
新事業開拓チーム

県内企業の製品・技術や鳥取県の産業集積の状況、商工施策等の情報を広く発信し、鳥取県をPRして県内企業の販路開拓等を図るために、以下の全国規模の専門展示会に鳥取県ブースを出展しました。

1 出展展示会の概要

| 展示会名 | 会期・会場 | 内容 | 商談状況 |
|------------------------|-------------------------------|---|--------------------|
| 第19回ファインテック・ジャパン | 会期:4月15日～17日 会場:東京国際展示場 | フラットパネルディスプレイの製造技術に関する展示会。液晶人材育成プログラムを展示。 ・出展企業:液晶関連企業 3社 | 取引成立 7 |
| 第13回機械要素技術展 | 会期:6月24日～26日 会場:東京国際展示場 | 各種機械部品・技術の総合展示会。 ・出展企業:機械関連企業 3社 | 取引成立 0 商談期待先 29 |
| CEATEC JAPAN 2009 | 会期:10月6日～10日 会場:幕張メッセ | 電子部品・デバイスから完成品まで、幅広い分野を網羅したエレクトロニクス総合展示会。 ・出展企業:電機関連企業 3社 | 取引成立 0 商談期待先 57 |
| FPD International 2009 | 会期:10月28日～30日 会場:パシフィコ横浜 | フラットパネルディスプレイおよび製造装置・部品・材料の総合展示会。液晶人材育成プログラムを展示。 ・出展企業:液晶関連企業 2社 | 取引成立 0 商談期待先 3 |
| メッセナゴヤ 2009 | 会期:11月11日～14日 会場:ポートメッセ名古屋 | 名古屋市で開催される国際総合見本市。鳥取大学、鳥取環境大学も共同出展。 ・出展企業:環境関連、機械他 8社 | 展示会終了時調査の集計中 |

2 出展の成果（出展企業へのアンケート等に基づく評価と課題）

- ・大型展示会に初出展した企業が予想以上の製品への反応に方向性に自信を持った例や、多様な業種の事業者との出会いで営業の糸口が広がった例などあり、県内企業の販路開拓に寄与。
- ・展示製品や技術について、自社では想定外だった新たな用途に気付きがあるなど、展示会が市場ニーズ等の吸い上げの場ともなり、競争力の高い製品開発やブラッシュアップの契機にもなっている。
- ・県ブースを構え、県施策も併せた一体的な出展により、各社単独で出展する以上のPR効果もあった。
- ・出展企業の製品と期待する分野の客層がうまくマッチしない場合は商談が生まれにくく、工夫が必要。

3 実施前後のフォロー

- ・(財)鳥取県産業振興機構のマネージャー、コーディネーターが会期前の商談先紹介や会期終了後の商談支援を実施。
- ・展示会終了時と半年後に成約状況を調査し、引き続き成約に向けフォローアップしていく。

4 今後の予定

電機・電子関連の専門展示会「第11回国際電子部品商談展」（平成22年1月20日～22日 @東京国際展示場）に出展予定。3の支援等をより効果的に、出展効果を高めていく。

5 予算額 21,639千円

【参考】打って出る鳥取のものづくり情報発信事業

鳥取県のものづくりを大都市圏の専門展示会において情報発信することで、県内産業や県に対する知見を普及し、県内中小企業の販路拡大や企業誘致につなげるとともに、企業の商談ノウハウの蓄積等を図るもの。



鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について

平成21年11月25日

市場開拓室

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について、報告します。

1 アンテナショップ効果事例

- ・アンテナショップに都内の会社を招待、又は営業を行った結果、以下の成果がありました。

【商談成立したもの】

東京八重洲地下街の「諸国ご当地プラザ」でせんべい、レトルトカレーなどの取扱いが決定

【商談継続中の主なもの】

| 商談相手 | 商談品目 |
|-----------|------------------------------|
| 通販ネット会社 | お茶、水産加工品 |
| 総合食品卸会社 | らっきょう |
| 食品スーパー | らっきょう、トマトジュース、トマトケチャップ、エゴマ油等 |
| 都内農産物販売施設 | こだわり農産物 |
| 都内中華レストラン | 紅ズワイガニ、松葉ガニ、地酒等 |

2 取組状況

〈県産品の情報発信・販路開拓〉

- ・テレビ・雑誌等でアンテナショップ販売商品を紹介
日本テレビ系全国放送「音楽戦士」(9/25放送)、DIME(10/20号)、クロワッサン(10/25号)等
- ・首都圏イベントにアンテナショップが出店
日本橋京橋まつり(10/25)、港区商店街と地方都市との交流物産展(11/5)等
- ・10/25から2週間、西条柿日本一戦略推進協議会の協力により、物販店舗とレストランが共同で「西条柿フェア」を開催。

併せて、都内のレストランに西条柿を提供し、料理やデザートとして使用していただき、大変好評を得た。



西条柿を使ったレストラン「トットリーネ」オリジナル料理(生ハム柿)

3 運営状況

(1) 来客実績

| 区分 | 物 販 店 舗 | | | | レ ス ト ラ ン | | |
|-----------------------|---------|----------|-------------|---------------|-----------|----------|-------------|
| | 買物客数 | 営業 日数 | 売上高 (千円) | 催事売上高 (千円) | 来店客数 | 営業 日数 | 売上高 (千円) |
| H20.8.29～ H21.3.31 | 37,662名 | 211日 | 50,229 | 806 | 13,497名 | 171日 | 50,092 |
| 4月 | 4,737名 | 30日 | 5,925 | 62 | 1,731名 | 25日 | 5,925 |
| 5月 | 6,309名 | 31日 | 7,590 | 87 | 1,822名 | 23日 | 6,410 |
| 6月 | 6,159名 | 30日 | 7,701 | 212 | 2,203名 | 26日 | 7,489 |
| 7月 | 6,206名 | 31日 | 7,700 | 181 | 2,092名 | 26日 | 7,345 |
| 8月 | 7,483名 | 31日 | 8,198 | 108 | 2,268名 | 27日 | 7,804 |
| 9月 | 7,002名 | 30日 | 8,743 | 209 | 1,828名 | 23日 | 6,191 |
| 10月 | 6,384名 | 31日 | 7,623 | 224 | 1,865名 | 26日 | 6,716 |
| 累 計 | 81,942名 | 425日 | 103,709 | 1,889 | 27,306名 | 347日 | 97,972 |

注) 催事売上高は内数

(2) 10月の人気商品・メニュー

| 物 販 店 舗 | | レ ス ト ラ ン | |
|-------------------|-----------------------|-----------|-----------------------|
| 1位: 吾左衛門鮓 鯖 | 1,774円 | ランチ | 週替わりパスタセット 1,000円～ |
| 2位: 大山ソフトクリーム | 380円 | | サザエカレー 1,000円 |
| 3位: 砂丘らっきょう漬け(甘酢) | 1,050円 | ディナー | 月替わりトッリ-コース 4,200円 |
| 4位: 打吹公園だんご | 900円(10本) 500円(5本) | | |
| 5位: 干しホタルイカ | 525円 | | |

食のみやこ鳥取県 in ニューヨーク事業の実施結果について

平成21年11月25日

市場開拓室

世界経済の中心であり、情報発信力のあるニューヨークにおいて、「食のみやこ鳥取県」をPRするため、次のとおり食のみやこ鳥取県 in ニューヨーク推進事業を実施しました。

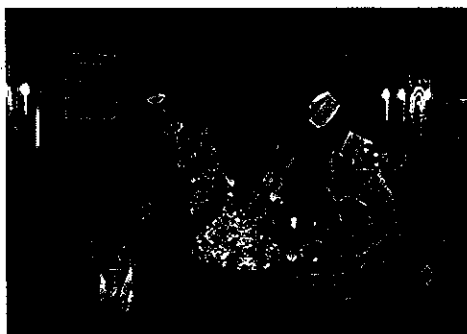
1 ニューヨーク総領事館 大使公邸における「食のみやこ鳥取県PR」

- (1) 日 時 10月28日(水) 午後2時から5時まで
 - (2) 場 所 在ニューヨーク日本国総領事館 大使公邸
 - (3) 来場者数 シェフ、小売バイヤー、レストラン関係者、マスコミ、貿易会社など120名
 - (4) 結果概要
 - ・NYのレストラン業界著名人や三つ星レストラン著名シェフが県産品を試食し、「たいへんおいしい」とすばらしさを実感された。
 - ・県調理師連合会調理師(知久馬会長、秦副会長)による匠の技を披露し、県産食材等を強く印象付けた。また、県産魚を使用した日米料理人の料理競演では、美味しい・素晴らしいとの評価があった。
 - ・参加県内企業は、試食・試飲等を通じて県産品のおいしさ、ヘルシーさなどをPRし、数多くの商談が行われ、取引が成約見込みとなる等の成果があった。
- 商談数：150件、成約見込み：7件、成約に向け商談中：18件

(5) 県内参加企業(17社参加)

| | 事業者名 | 出展商品 |
|------|--------------|-----------------------------|
| 寿司 | (株)米吾 | 吾左衛門鮓 鯖、鱒、燻し鯖 |
| | ブリアントアツエイ(株) | はたはた押し寿司、さしみ醤油 |
| 梨 | 全農とっとり | 二十世紀梨 |
| 酒 | 千代むすび酒造(株) | 地酒、焼酎 |
| | 中井酒造(株) | 地酒 |
| | 中川酒造(株) | 地酒 |
| | 君司酒造(株) | 二十世紀梨リキュール |
| 農産加工 | (有)AONケミカル | 二十世紀梨酢 |
| | (株)はりまや | 豆乳入りそうめん風こんにやく、豆乳サラダこんにやく |
| | (有)とうふ工房雨瀧 | とうふドーナツ |
| 水産加工 | (株)オーク | アジフィレ、ベニズワイ身、ベニズワイ棒肉、アジバーガー |
| 乳製品 | 大山乳業農協 | アイスクリーム |
| 菓子 | (株)みつよし | 生チョコ生クリーム大福 |
| | 丸京製菓(株) | 栗入りどらやき |
| その他 | 日本アトマル(株) | 金属花器 |
| 民芸 | アトリエカワハラ | 大山友禅染 |
| | ヒロデザインスタジオ | 因州和紙あぶらとり紙 |

(6) 公邸での様子



県調理師によるパフォーマンスの様子



公邸のPR会場の様子

2 Mitsuwa ニュージャージー店での「味の銘店街」への鳥取県企業の参加

(1) 日 時 10月29日(木)～11月1日(日) 午前9時30分～午後8時(最終日は午後6時)

(2) 場 所 ミツワ・マーケットプレイス・ニュージャージー店

(3) 結果概要

- ・あじかに弁当、アジバーガー、とうふドーナツ、大福などは、販売予定数量を午後の早い時間で完売するなど来店者の関心も高く販売も好調であり、今後の定番化商品につながる可能性も生まれた。
- ・全米のミツワの各店舗を統括する瀧本統括マネージャーと知事の面談を行い、今後の県産品の販路拡大について、意見交換を行った。

(4) 県内参加企業(9社参加)

| 事業者名 | 出 展 商 品 | |
|--------------|----------------------------|---------------------------|
| 寿司 (株)米吾 | 吾左衛門鮓 鯖、吾左衛門鮓 鱒、吾左衛門鮓 燻し鯖 | |
| 梨 全農とっとり | 二十世紀梨 | |
| 酒 千代むすび酒造(株) | 地酒、焼酎 | |
| 農産加工 | (有)AONケミカル | 二十世紀梨酢、ブルーベリー入り梨酢飲料など |
| | (株)はりまや | 豆乳入りそうめん風こんにやく、豆乳サラダこんにやく |
| | (有)とうふ工房雨滝 | とうふドーナツ |
| 水産加工 (株)オーク | あじかに弁当、アジバーガーなど | |
| 乳製品 大山乳業農協 | アイスクリーム | |
| 菓子 (株)みつよし | 大山みるく生クリーム大福、生チョコ生クリーム大福など | |

(5) ミツワ・マーケットプレイス・ニュージャージー店(味の銘店街)での様子



Mitsuwa ニュージャージー店(味の銘店街)



二十世紀梨、梨関連商品の販売

「おいしい鳥取 in 丸の内ハウス」の開催について

平成21年11月25日

市場開拓室

東京・丸の内のランドマーク「新丸の内ビル」7階の丸の内ハウスにおいて、鳥取県食材の素晴らしさ、食のみやこ鳥取県をPRし、販路開拓につなげるため、鳥取県の食材を使用したフェア「おいしい鳥取in丸の内ハウス」を開催しています。

<「おいしい鳥取 in 丸の内ハウス」の概要>

1 会期

11月18日(水)～29日(日)12日間

午前11時から午前4時まで(一部店舗は午後11時まで、日曜・祝日・連休最終日は午後11時まで)

2 場所

丸の内ハウス全9店舗(東京都千代田区丸の内1-5-1新丸の内ビル7階)

※丸の内ハウス:東京駅前に平成19年にオープンした「新丸の内ビル」の7階フロアの全9店舗の集合体に「丸の内ハウス」と名称をつけて街のゲストハウスと位置づけています。

3 内容

丸の内ハウス内の全9店舗で、鳥取県産食材を使用したメニューを開発し(使用する鳥取県産食材を各店舗で仕入れ)、フェア期間中通常メニューに加えてスペシャルメニューとして提供

※メニューについては、別紙メニュー表参照

4 オープニングパーティー

イベント初日に、料理関係者、マスコミ、県のゆかりの方等の関係者を招待したパーティーを開催

・日時 11月18日(水)午後7時～9時

・場所 mus mus(丸の内ハウス内の一店舗)

・内容 生産者(県漁協女性部)自らによる料理、県食材を活用した料理等の提供
鳥取県酒造組合による地酒のPR

5 期間中のイベント

丸の内ハウスの共有スペースであるサロンルームにて鳥取県の食に関するセミナーを開催

・山本洋子氏(米の酒と食の研究家)によるセミナー

日時:11月24日(火)午後7時～8時30分

演題:純米酒県・鳥取!酒米強力を飲み比べる

・植田英樹氏(鳥取情報文化研究所所長)、河下哲志氏(鳥取とうふちくわ総研演奏員)によるセミナー

日時:11月27日(金)午後7時～8時30分

演題:鳥取B級グルメ紀行

※両日ともに参加料は無料、先着30名

6 その他

・サロンルームにおいて、鳥取県の観光、伝統工芸品、食材等を紹介・PR

・サロンルームにおいて、鳥取県に関するクイズを行い、正解者の中から抽選でペア30組に県内温泉地の宿泊券をプレゼント

・会場全体(新丸ビル7階ワンフロア)を、鳥取県のイメージで装飾(鬼太郎がナビゲート)することにより、イベントの盛り上げを演出